



「オーエス！みんなであつなびき」
皆野小1年

内田 美羽さん



(評) つなを一生懸命引っぱっている様子を楽しく表現できました。

「思い出の運動会」
三沢小6年

稲垣 扶久さん



九月二十七日。運動会が行われた。今年は今までで一番緊張した。なぜなら、ぼくは赤組の団長になったからだ。まず初めに入場行進。そして開会式。ラジオ体操を終え、いきなり応援合戦①だ。ぼくは練習でがんばった成果を発揮し、全力でやった。そして一から五年生の徒競走が終わり、いよいよぼくたち六年生の徒競走の番だ。ぼくは、残念ながら最下位だった。これは、くやしかった。そしてつな引き。これは、大差をつけて圧勝した。うれしかったし、楽しかった。また、雨でキャタピラーがやぶけるアクシデントがあつて引き分けだったが、親子種目もとても楽しかった。

と指先、止めるところは止める事を意識し、感動をよんだのだ。その後いそいで体育館に入りお弁当を友達と食べた。おいしかった。その間、大人の人たちが校庭を整備してきてくれた。だから、すぐにはじめられた。とてもありがたいと思つた。

午後一番最初は、応援合戦②だ。①とはちがいは、得点種目だ。だから工夫をし、見栄えを強調した。だが、負けてしまった。休み時間も使つて皆で練習をしてきただけにものすごくうれしかった。その後、玉入れを3回戦した。結果は：勝つた。そして、最後の全校リレーだ。チームは白組を二チームに分けた白チーム、黄色チーム。赤組を二チームに分けた赤チーム、緑チームだ。どのチームもがんばつた。結果は：一位は黄色チーム、二位赤チーム、三位緑チーム、四位白チームとなった。そして、秩父音頭をおどり、閉会式になった。緊張感が高まる中、いよいよ得点発表だ。白、335点。赤、315点。残念ながら負けてしまった。これでぼくは、六年間負けてしまったのだ。泣きたいくらいうれしくて残念だった。だけど、この運動会を通して、がんばる事の大切さ、仲間と協力する事のすばらしさ、ついてきてくれた下級生や仲間の支えを知り、感じる事ができた。だから、ぼくににとって、小学校生活最後

の運動会は、とても楽しく思い出深いものとなった。これは、一生忘れることはないだろう。運動会最高！！

(評) 扶久さんの運動会に対する思い、がんばり、感動がよく伝わってくる文章です。勝敗以外のところでも大切なことを感じ、学び得ることができましたね。

「夕陽の鉄橋」
皆野中3年

井上 愛海さん



(本人のコメント)
夏の燃えるような夕陽が描きたくて、電車の影や川の光の反射などを工夫して描きました。

夕陽はオレンジや黄色だけでは描けないので苦労しましたが、がんばりました。

国神小5年

矢口 夢乃さん



朝日

小五 矢口 夢乃

(評) 字形を整えていいねいにかきました。

皆野小3年

久米 七夢さん



大

小三 久米七夢

(評) 1画目、2画目の始筆がきれいです。新しく学習したはらいが、筆遣いに気をつけてのびのびと書けました。